



蓄光技術とデザインを活用した安全対策

中学生が考えるまちの課題の解決に向けた社会実証を実施

市は株式会社 humorous とともに、街路灯や防犯灯などの既存設備に拠らず、青色蓄光素材を活用した標識デザインを設置することで夜間の道の明るさや視認性を高める新手法「ナイトコンシェルジュ」を12月19日から社会実証として開始する。このような手法での蓄光技術の活用は全国初で、国土交通省が公募するモデル事業としての採択を受け、企業や各関係機関と連携して取り組む。

市立杉中学校の生徒がまちづくりに関する課題や解決案について自由に考えたテーマを起点に、企業と自治体のマッチングサービス「逆プロポ」を介し、新技術の実証パートナーを求めている株式会社 humorous とマッチング。杉中学校区の氷室台地区と藤阪地区の2カ所で来年2月まで実施する。

★本実証は、国土交通省が公募する社会実験(道路施策の導入に先立って施策の試行・評価による新たな施策展開と円滑な事業執行を目的とする現地実証実験)において、「新技術を活用した公共空間の安全と防犯の確保に係る実証実験」として採択を受けたもの。近畿地方では今年度枚方市のみが採択。

★株式会社 humorous は、コンテンツやプロダクト及びインフラの企画、開発、製造、販売、プロモーションを行う会社で、課題のある空間をエンタメやデザインのアプローチで一新させる『ZONE』プロジェクトは、国土交通省が進める道路に関する社会実験の取り組みにおける、先進的な民間の技術・アイデアとして登録されていた。

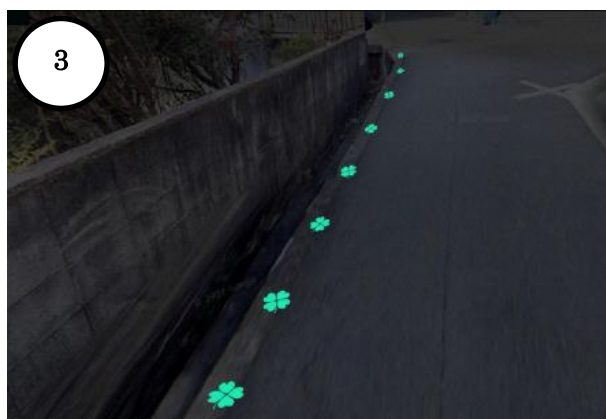
★道路の安全性や視認性の改善の手法として、街路灯や防犯灯等によるハード整備には、設置できる密度や設置・維持管理費のコスト面での課題があるため、本実証では電力供給不要な青色蓄光素材を活用した標識デザインを設置して、明るさ確保だけでなく、デザイン性を備え、安心、かつ歩いて楽しい空間が同時に実現できるかの効果検証を行う。

★市立杉中学校の生徒が市の課題を出し合った授業において、校区内には夜道が暗いことで視認性が悪く危険や不安を感じる場所があるという課題や改善への提案が多数出てきた。市として優先的に解決方法を模索し、本実証を行うことで、市民の安全と、若者のまちづくりへの参画につなげていきたい。

★「ナイトコンシェルジュ」のデザインや設置イメージ ©humorous/osa-mayor



電柱設置イメージ図 (①および②)



路面設置イメージ図 (③)

<お問い合わせ>

(企業との連携に関すること)

総合政策部 政策推進課 ☎072-841-1149、FAX 072-841-3039

(交通に関すること)

土木部交通対策課 ☎050-7102-6530、FAX 072-841-4605